




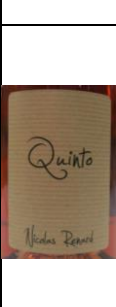


Nicolas Renard

ニコラ・ルナル

| | | | | |
|--|--|--|-----------|---|
|  | <p align="center">○Touraine Sauvignon - Jeanne トゥーレーヌ ソーヴィニオン ジャンヌ</p> | | <p>備考</p> | <p>ニコラが代父となったElise Brignonの娘さんの名前に由来。買ひブドウだけれど、じっくりと収穫を待ってもらったのが、しっかりと熟した果実を思わせる、ニコラのワインらしい濃厚な香りがある。</p> |
|  | <p align="center">○Touraine - Lulu トゥーレーヌ リュリュ</p> | | <p>備考</p> | <p>ニコラ・ルナルの代名詞ともいえる品種である、シュナン・ブラン。キュヴェ名は娘の名前（Ludvine/リュディヴィーヌ）の愛称にちなんでつけた。ニコラにとってもシュナン・ブランは特に好きな品種なので、愛する娘の名前が何よりもふさわしい。</p> |
|  | <p align="center">○Cuvée J キュヴェ ジェイ</p> | | <p>備考</p> | <p>自社畑のブドウのみを使い醸造。すっきりとしたタイプのソーヴィニオン・ブランとは違い、ぎりぎりまで収穫を引っ張り、極限まで熟した果実で醸造しているため、濃密な味わい。キュヴェ名はニコラの両親であるジャンとジャッキーのイニシャルに由来。</p> |
|  | <p align="center">○Saint Peray サン・ペレ</p> | | <p>備考</p> | <p>ローヌに住んでいた時に、造っていたキュヴェ。畑は森に囲まれており、時折、ヴォトリティスがつかくこともあるそう。特に取り除くことはせずに、醸造している。</p> |
|  | <p align="center">●Cuvée Léo キュヴェ レオ</p> | | <p>備考</p> | <p>キュヴェ名は愛娘リュディヴィーヌの息子レオに由来。</p> |
|  | <p align="center">●VdF-Quinto クイント</p> | | <p>備考</p> | <p>2017年：例年天候不良による収量減が続いたので、友人の栽培家から購入したカベルネ・フラン。ブドウの成熟度や状態に関しては、赤ワインを造ろうと思えるものではなかったので、少し早めに摘んで、ごく短いマセレーションで、ペットナットを造ることに決めた。デゴルジュマンは2019年夏。残糖があり、香りも濃厚。大のイタリアワイン好きのニコラは初めて飲んだ時に、カッペラーノのキナートを思い浮かべたのだが、名称がうるおぼえだったので、キントと呼んでいるうちに、キュヴェ名になってしまった。イタリア語では、クイント（quinto）という“第五の”という意味だが、それは全く関係ない。はずである。</p> |